

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 大阪大学	
	取得方法	課程 平成1年取得	
◆ 学 歴	大 学	大阪外国語大学外国語学部英語科 昭和62年卒業	
	大 学 院	大阪大学大学院文学研究科英文学専攻英語学 平成4年 後期課程・博士課程単位取得後退学	
◆ 学 内 職 務 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教務委員 ▪ 教職支援委員 ▪ 教育実践論集編集委員 ▪ 宗教委員 ▪ 教員養成カリキュラム委員 		
◆ 担当授業科目 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Extensive Reading 初・中・上 ▪ 専門演習 I~IV 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 英文法 I, II ▪ 英語学
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 大学基礎演習 I 		<ul style="list-style-type: none"> ▪
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
▪			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
英語学	認知科学	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 語用論 ▪ 推論 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 関連性理論 ▪ 思考
◆ 研 究 概 要	言語活動における表意と推意とからの人の思考プロセスの探究		
◆ 所 属 学 会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本英語学会 ▪ 日本語用論学会 ▪ 		
◆ 主要著書 (5件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 『ひとは発話をどう理解するか』 	共	平成6年2月28日	Diane Blakemore (1992) <i>Understanding Utterances</i> (Blackwell 社刊)の共訳. ひつじ書房.
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 『英語学用語辞典』 	共	平成11年1月10日	荒木一雄編. 三省堂. 数項目担当.
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 『「ことば」のからくり』 	共	平成16年3月15日	「解釈に干渉する文化的制約: 二重性仮説と文化的モジュール」執筆. 河上誓作教授退官記念論文集刊行会編収録. 英宝社.
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 『思考と発話: 明示的伝達の語用論』 	共	平成20年3月1日	Robyn Carston (2002) <i>Thoughts and Utterances - The Pragmatics of Explicit Communication</i> (Blackwell 社刊)共訳 研究社.
◆ 主要論文 (5件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 英語の「通じればよい」とその少し先 	単	平成30年3月	『四天王寺大学教育実践論集』第5号.
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 学問的知見の授業への反映についての一考察: 「英文法」における事例 	単	平成30年3月	『四天王寺大学紀要』第65号.
<ul style="list-style-type: none"> ▪ モジュール式授業の展開動向についての一考察 	単	平成30年9月	『四天王寺大学教育実践論集』第6号.

<ul style="list-style-type: none"> 統語論と語用論：整合性と授業導入に関する一考察 	単	平成31年3月25日	『四天王寺大学教育実践論集』第7号.
<ul style="list-style-type: none"> 「つじつま」と英文法 	単	平成31年10月25日	『四天王寺大学教育実践論集』第8号.
◆ その他（5件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> 学会発表「A Comparative Study of Japanese and English Conditionals in a Relevance-theoretic Approach」 	単	平成5年7月29日	4 th International Pragmatics Conference
<ul style="list-style-type: none"> 学会発表「On the Duality of Conceptual and Procedural Meaning: Some Data from Old Japanese and Present-day Japanese」 	単	平成8年3月29日	慶応義塾国際集会「言語知識と認知のインターフェイス」ワークショップ
<ul style="list-style-type: none"> 学会発表「Carstonの意味的空仮説の意義について」 	単	平成16年12月11日	日本語用論学会口頭発表(招聘)